

物流 2024 年問題などの影響で増加が予想される『引越し難民』 トランクルームを活用した”賢い引越し術”とは？

～3月の引越しシーズンは、トランクルームの問い合わせが30%以上増加～

間もなく進学や就職、転勤など新生活のシーズンが到来しますが、近年引越し時にトランクルームを利用する需要が高まっています。株式会社キュラーズ（本社：東京都品川区、代表取締役：スティーブ・スポン）では、3月のお問合せ数が30%以上増加傾向にあり、高まる需要にお応えすべくキュラーズ白石店（2024年3月）を皮切りに続々リニューアルオープンを予定致しております。また、今年は物流の2024年問題などの影響から、引越しをしたくてもできない『引越し難民』が例年より多くなる予測です。今回は、住宅ジャーナリスト 山本久美子氏監修のもと、トランクルームを活用した”賢い引越し術”をご紹介します。



｜繁忙期に人手不足が加速…2024年春は『引越し難民』が増加予測！？

コロナ禍で引越し件数も一時的に縮小しましたが、運送業界のドライバー不足はコロナ以前から深刻な問題でした。特に2024年春は、繁忙期に様々な要因から人手不足が重なり、例年以上に『引越し難民』問題が発生する可能性が高いと推測されています。

要因①：運送業界の「2024年問題」

物流・運送業界では「働き方改革」が求められ、2024年4月から「時間外労働の上限規制（年960時間）」などが適用予定です。この改正に伴う労働時間に制限が出ることで、人手不足が懸念されています。リベロ社が発表した実態調査では、約7割の引越し会社が「2024年問題への対応を進めている」と回答しており、「このままだと20%程度の引越しをお断りさせていただくことになる」や「労働時間に制約が出ることで、これまで受けてきた引越しをお断りする可能性もありえる（おおよそ4割減見込み）」といった声も上がっています（※1）。また、引越し費用は2022年時と比べて、単身・家族どちらも3万円ほど増額されるという結果が出ています。長距離には対応していないという会社が38%ほどあり、長距離の引越し対応を今後

懸念している企業が多いことも推測できます。

■「単身引っ越し」の成約単価

単身引っ越し	安くなる		高くなる		
	▲1万円	▲5千円	3万円	5万円	5万円以上
短距離(1~150km未満)	4社	9社	34社	2社	0社
中距離(150~500km未満)	5社	7社	30社	3社	2社
長距離(500~1,000km)	7社	9社	16社	10社	0社
合計	16社	25社	80社	15社	2社

■「家族引っ越し」の成約単価

LIVERO

家族引っ越し	安くなる		高くなる		
	▲1万円	▲5千円	3万円	5万円	5万円以上
短距離(1~150km未満)	4社	8社	26社	7社	3社
中距離(150~500km未満)	7社	6社	21社	8社	2社
長距離(500~1,000km)	7社	4社	10社	9社	10社
合計	18社	18社	57社	24社	15社

※1)引用：2023.3.6 株式会社リベロ 2023年春、『引越し難民は発生するのか?』
 ~「全国130社の引越会社が加盟するHAKOPLAの定例会で実態調査!」~
 n=50社、▲=マイナス、長距離対応をしていない会社を除く

コロナ明けによる引越し需要は回復傾向にありますが、現在のドライバー不足は業界全体の課題となっており、このまま深刻化すると、資材や燃料の価格高騰の問題も加わり、長距離の引越しは効率が悪く、受注する会社が減り、最終的には引越し費用の高騰に繋がってしまいます。

要因②：3月中に引き渡しの新築マンションが多い

新築マンションの引き渡しは3月に多くなります。新生活がスタートする4月に間に合わせるためという点もありますが、多くの分譲会社の決算が3月末なので、年度内に引き渡して売り上げを計上したいという側面もあります。そういった背景から、新築マンションには引越し繁忙期に多くの世帯が「一斉入居」をします。マンションの管理会社が特定の引越し業者を「幹事会社」に指定して、全世界帯の引越しスケジュールを調整することが多いですが、引越し件数が多くなり繁忙期を圧迫してしまいます。

引越し希望者を悩ます、2024年不動産・引越し事情



住宅ジャーナリスト 山本久美子

早稲田大学卒業。リクルートにて、「週刊住宅情報」「都心に住む」などの副編集長を歴任。現在は、住宅メディアへの執筆やセミナーなどで活躍中。「SUUMO ジャーナル」「東洋経済オンライン」「Yahoo! ニュース」などのサイトで連載記事を執筆。「All About」で最新住宅キーワードガイドを務める。

<https://www.ne.jp/asahi/yamakumi/office/profile.html>

『引越し難民』とは、引越し事業者の予約がとれない等の「日程面」に加え、費用が予算より高額で頼めない等の「費用面」で引越しできない人が増えることを指します。近年は、新生活スタートの時期に引越し希望者が多いのに、引越し事業者の人手不足により『引越し難民』が発生するケースが増えていますが、2024年は人手不足が深刻化する可能性があり、例年より多くの引越し難民が発生する可能性があります。

▽引越し難民にならないために以下の対応策が考えられます。

① 早めに予定を決める	3月末や土日などの集中しそうな日程を避けることがまず重要です。
② 日程を大幅にずらす	4月の第3週以降などピークを過ぎた時期なら、引越しの予定を入れやすく、費用を抑えられる可能性があります。
③ 荷物を分けて引っ越す	必要最低限の荷物を運搬して新生活を始め、残りの荷物はトランクルームに保管し、後から引越しするといった方法もあります。退去日と引越しが合わない場合もトランクルームは効果的です。

■キュラーズを活用した”賢い引越し術”

引越し繁忙期でも、トランクルームを活用することで効率がよい引越し、場合によっては費用を抑えられる可能性があります。また、収納スペースが少なくて諦める物件があっても、トランクルームを併用すれば住まい選びの選択肢を広げることができます。すぐに使わないものはトランクルームに保管し、必要な荷物だけを部屋に置くなど、賢くトランクルームを活用して理想の住まい選びを実現しましょう。

POINT 1 | 入退去日が合わない場合や、高額な引越し繁忙期の荷物の一時避難場所として

入居日と退去日が合わず、家財道具の置き場所に困った場合でも、荷物をトランクルームに一時的に保管する事でスムーズに引越しを行う事ができます。また、繁忙期は費用が高くなり、閑散期と比べて1.5~2倍も変動する場合があります。新生活に向けて多くの出費が予想される中、荷物を一時的にトランクルームに避難させることで、引越し費用を最小限に抑えられる可能性があります。

キュラーズは、24時間365日、いつでも自由に荷物の出し入れが可能。いつでも好きなタイミングで新居に荷物を移せるメリットがあるため、引越しの負担を軽減する事ができるでしょう。

POINT 2 | クルマや免許が無くても、“無料シャトル”や“宅配サポート”などのサービスが充実

キュラーズなら、家具などの大きな荷物を含め、シャトルサービスでトランクルームに無料で運ぶサービスを提供しています。車や運転免許がなくて荷物を運べないという方でも、ご自宅までキュラーズのシャトルバスがお迎えにあがります。また、自宅やオフィス、外出先などから、スマホ1つで荷物の収納+取り出しが完結できる宅配サポートも提供しています。引越し後の新居からも、必要なモノを手軽に出し入れすることができます。

cf.) [・キュラーズ無料シャトル](#) [・キュラーズ宅配サポート](#)



POINT3 | 幅広い収納サイズをラインナップ

引越し時は、全ての荷物を家から出して移動する必要が出てきます。トランクルームを利用する場合も、事前にチェックせず、当日運び込もうとしたら入れられないなどの恐れがあります。キュラーズなら、5畳や10畳以上の大きなスペースを用意しているため、家一軒分の荷物の収納も可能。0.5畳サイズからスペースがあるため、引越し後に小さいスペースに収納場所を変更することもできます。但し、収納スペースの数には限りがあるため、特に引越しシーズンなどは確実にスペースを確保できるよう早めに予約しましょう。

cf.) [収納サイズの選び方](#)



■キュラーズについて

キュラーズは、全国 67 店舗、40,000 室を展開する日本最大級のトランクルームです。質の高いトランクルームサービスやお客様本位の取り組みが認められ、様々な調査においてキュラーズが提供するサービスを評価いただき、2001 年の創業以来のべ 18 万人以上のお客様にご利用頂いております。

キュラーズ HP : <https://www.quraz.com/>

■会社概要

名称 : 株式会社キュラーズ
本社所在地 : 〒141-0032 東京都品川区大崎 3-5-2
連絡先 : Tel: 03-4563-1500
代表取締役 : スティーブ・スポン
従業員数 : 211 名 (2024 年 1 月現在)
創業 : 2001 年 8 月 2 日